

2024年3月期 取締役会の実効性評価の結果及び概要について

当社は、取締役会の機能向上を図るため、2024年3月期における取締役会の実効性に関する分析・評価を実施しましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 実効性評価の方法

当社の取締役9名（監査等委員を含む。）及び子会社の取締役4名、計13名に対し、取締役会の実効性評価に係るアンケートを実施しました。なお、アンケートの項目は以下のとおりです。

- ①取締役会の「構成」について
- ②取締役会の「運営」について
- ③取締役会の「議題（審議）」について
- ④取締役会の「支援体制」について

2. 実効性評価の結果の概要

取締役会は、アンケートの結果、取締役会全体の実効性について、おおむね確保されていると評価いたしました。

一方で、以下の課題を確認いたしました。

- ①取締役会の「構成」について
 - ・2024年3月期の取締役会の構成は、ダイバーシティの観点から偏りがあること
- ②取締役会の「議題（審議）」について
 - ・役員報酬に係る議題について、適切な議論がなされていないこと
 - ・代表取締役社長の後継者計画について、確立されていないこと

3. 取締役会の実効性向上に向けた今後の取組み

当社取締役会は実効性評価の結果を踏まえ、上記の取組むべき課題と前年の実効性評価において取組事項としておりました項目について、引き続き適切に対応することにより、取締役会全体の実効性向上に向けた取組事項とすることといたしました。

4. 今後の対応

当社取締役会は上記3に記載の取組事項について、議論、検討を行うことで取締役会の実効性を更に高め、コーポレートガバナンスの強化に努めてまいります。

なお、2024年6月25日開催の第58回定時株主総会において、女性取締役1名が選任されておりますが、引き続き多様性の確保に努めてまいります。

以 上